



アドビシステムズ、デジタルマーケティングチャネルを 横断して訪問者体験をパーソナライズする Adobe Recommendations, powered by Omniture を発表

**Adobe Online Marketing Suite, powered by Omniture の
最新アプリケーション：Web サイトやディスプレイ広告、電子メール、
モバイル等のデジタルチャネルを横断して、マーケターが柔軟に
コントロールし、商品やコンテンツに関連する自動レコメンド機能を実現**

【2011年2月22日】

アドビシステムズ 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル (Craig Tegel)、以下、アドビシステムズ）は本日、Adobe Online Marketing Suite の 1 アプリケーションとして Adobe® Recommendations, powered by Omniture®（アドビレコメンドエンジン パワードバイ オムニチュア）を日本市場向けに提供を開始することを発表しました。米国の大手ブランドですでに多くの利用実績のある Adobe Recommendations は、定評のあるパーソナライズ技術を採用しており、マーケターは、Web サイトをはじめとする各種オンラインチャネル（モバイル、電子メール等）で表示される商品やコンテンツで、ターゲットを絞った関連性の高いレコメンドを提供できます。Adobe Recommendations の中核となるのが、自動化されつつもカスタマイズ性に優れたレコメンド エンジンです。このエンジンにより、あらゆる規模の企業が、魅力的なパーソナライゼーションを活用することができるようになり、手間のかかる手作業によるプロセスが不要になります。

アドビシステムズ オムニチュア事業本部 本部長 尾辻 マーカスは、「日本の消費者は、世界でも極めて洗練され、技術に精通しており、接するブランドにも、極めてパーソナライズされた体験を求めます。実績のあるソリューションである Adobe Recommendations を使用することで、マーケターは様々なアプローチを活用し、あらゆるデジタルマーケティングチャネルで自らのパーソナライズ戦略をサポートできます。また、リアルタイムの自己学習アルゴリズムを採用しているため、適切なタイミングで適切な消費者に適切な商品やコンテンツを簡単に提示することができ、消費者はまさに自分の求めている商品やコンテンツに簡単にたどり着くことができます」

Adobe Recommendations は、マーケターにとって使いやすいユーザーインターフェイスと、組み込み済みアルゴリズムを採用しており、人気アイテムや類似アイテムなどの関連性の高い商品やコンテンツを表示することで、コンバージョン、顧客エンゲージメント、売上を向上させます。さらに、サイトと商品の各種アフィニティアルゴリズムによって、ページビュー、カートへの追加、購入履歴、サイトでの全体的な行動履歴などのプロフィールに基づくさまざまな基準の組み合わせにより、消費者に提示される商品やコンテンツをパーソナライズできます。さらに細かく、価格帯や在庫レベル、商品カテゴリーなど、特定のパラメーターに基づき、レコメンドを修正し、特定アイテムにフォーカスしたり、リアルタイムの解析データを活用して、レコメンドの関連性を向上させることもできます。その結果、顧客行動に関する洞察と現在のビジネスニーズの間で、バランスのとれたレコメンドができます。

エディー・バウアー・ジャパン株式会社 イー・コマース室 インターネットチームの田伏 美雪氏は、「エディー・バウアー・ジャパンでは 2010 年 12 月より Recommendations を導入しました。先に導入していた SiteCatalyst の蓄積された解析データを活用したり、Test&Target のテストの結果に基づいて、さらに高度なレコメンドができるなど、3 つのサービスによる相乗効果に期待しています。弊社ならではのレコメンドにチューニングしていくことにより、より見やすく魅力的な WEB サイトにしていければと思っております」と述べています。

「Adobe Recommendations」の主な特徴：

- ・ **レコメンドの自動化・パーソナライゼーション**—商品やコンテンツのレコメンドを自動化することで、コストと時間のかかる手作業によるアプローチが不要となります。トップページ、商品ページ、検索結果ページ、ショッピングカートページ、電子メール、モバイル、ディスプレイ広告、店舗内キオスク、デジタルチラシなどにレコメンドを提供します。

- ・ **マーケターによる管理**—事前に組み込まれた 40 種類以上の人気度 / アフィニティアルゴリズムから選択し、パラメーターを容易にカスタマイズすることで、成果やレコメンドの表示方法・表示場所を管理できます。

- ・ **「Adobe SiteCatalyst, powered by Omniture」の既存の解析データの活用による関連性の高いレコメンド**—Web サイトなどのオンラインデータから絶えず「学習」し、自らを改良するアルゴリズムを採用しています。「最もレビュー数の多い商品」、「最も共有された記事」、「最も高いコンバージョン率」など、あらゆる分析指標に基づき、レコメンドをさらに最適化できます。

- ・ **組み込みテスト、ターゲティング機能、レポート機能**—あらゆるデジタルマーケティングチャンネルで、レコメンドするコンテンツの A/B テストや多変量テストを実行できるほか、動的コンテンツのターゲティングや、リアルタイムでの最適化とレポート機能、効果測定が可能です。

- ・ 自己学習による匿名の訪問者プロフィールに基づくレコメンドのパーソナライゼーションと微調整を行います。また、関連するエンゲージメント指標（サイト滞在時間、ページビュー等）および、標準的なコンバージョン値（平均注文額、1 訪問あたりの平均売上額等）の測定を行うことができます。

顧客体験に特化したコンサルティング / 調査会社として定評のある、Patricia Seybold Group のシニアバイスプレジデント兼シニアコンサルタント、スー オールドリッチ (Sue Aldrich) 氏は、「Web サイト、電子メール、キオスク、または顧客担当者をサポートするためになど、その用途に関わらず、ターゲットを絞ったコンテンツとレコメンドによる体験のパーソナライゼーションは、効果の高いマーケティングにおいてその重要性を急速に増しています。マーケターの目標を考慮に入れつつ、ユーザの行動と履歴に基づき、適切なコンテンツを提供するために、マーケターは、自動化とツールの活用によって効果的なパーソナライゼーションを実現する必要があります。こうした理由により、マーケターは、オンラインコンテンツの微調整とカスタマイズによってコンバージョン率の上昇と増収を実現する Adobe Recommendations などの包括的なソリューションに着目しています。Adobe Recommendations は、Adobe Online Marketing Suite という大きなマーケティングプラッ

トフォームの一部として、パーソナライズされ、一貫性のある訪問者体験を実現します。Adobe Online Marketing Suite は、レコメンデーション、テスト、ターゲティング、解析などのアプリケーションが統合されたソリューションで、小売業者のほか、企業間電子商取引、出版、広告のお客様にとっても、非常に有効な製品です」と述べています。

「Adobe Recommendations」は現在、日本での一般販売を開始しています。詳細については、www.omniture.com/jp をご覧いただくか、アドビ システムズまたは Omniture テクノロジー認定販売代理店までお問い合わせください。

Adobe Online Marketing Suite について

Adobe® Online Marketing Suite, powered by Omniture® は、オンライン ビジネス最適化のための統合されたオープンなプラットフォームです。顧客インサイトを活用することで、ビジネスでの革新を促すとともにマーケティングの効率を高めることができます。この統合ソリューションは、顧客インサイトを収集・活用し、集客やコンバージョン、リテンション、およびコンテンツ作成と配信を最適化するためのアプリケーションから構成されています。例えば、マーケターはこの統合ソリューションを使って最も効果的なマーケティング戦略と広告の出稿プランを決定でき、またウェブサイト、ディスプレイ広告、e-メール、ソーシャルメディア、ビデオ、モバイルなどのデジタル マーケティング チャンネルを横断して、関連性が高く、パーソナライズされ、一貫性のある顧客体験を作り出すことができます。この統合ソリューションでは、顧客とのインタラクションの改善や自動化ができるため、マーケティング ROI（投資対効果）を最大化し、最終的には利益率を高めることが可能です。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、世界を動かすデジタル体験を提供します。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe, the Adobe logo, Omniture are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

© 2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. All other trademarks are the property of their respective owners.